

平成 28 年 10 月 20 日

守谷市議会
議長 梅木 伸治 様

広報広聴特別委員会
神宮 栄二
砂川 誠

議会報告会報告書

開催日時：平成 28 年 10 月 2 日（日）
午後 1 時 30 分～午後 4 時

開催場所：いこいの郷 常総

出席議員名：（議席順・敬称省略）

渡辺大士・砂川誠・神宮栄二・堤茂信・高梨隆・渡辺秀一・
長谷川信市・青木公達・佐藤剛史・山田美枝子・寺田文彦・
高梨恭子・高橋典久・川名敏子・市川和代・佐藤弘子・
伯耆田富夫・松丸信久・梅木伸治

参加者数：27 名

司会進行：寺田文彦

【議長挨拶】梅木議長

○議員不祥事に対するお詫び

【委員会および分科会報告】

① 総務教育常任委員会（分科会）

《報告》

重点事業仕分けは（１）青少年相談員事業と（２）外国語指導助手事業 を取り上げた。（１）青少年相談員事業は、相談員の高齢化もあり事業そのものが曲がり角に来ている。守谷市では他の団体でも行っている部分があるので連携・協働を模索したほうが良い。以上の理由で、本事業名では【休止・廃止】し、手法を変えて各種団体等と連携し新たにスタートすべきである。

（２）外国語指導助手（ALT）事業は、文部科学省の指導要領をリードし、小学校 1 年生から英語教育を推進する一手法として ALT 事業を取り入れており、その評価は高い。ただ、費用対効果及び目標達成についての明確な指標がなく、「英検 3 級合格者数」が独り歩きしている感がある。今後は将来を見据えた目標を設定して事業遂行することを提言して、事業仕分けとして

は【改善し継続】としている。

《質疑》

Q: 市の決算報告は企業会計の貸借対照表で公表すべきではないか？ また、松並地区の電線地中化の費用は電力会社が負担すべきだったのではないのか？ 守谷駅東口 1.2ha の利用について一定の収入を確保する方法を考えてはどうか？

A: 議会として審議し、税金の使い道を大事に考えていきたい。

Q: 総務・教育の委員会が同じ委員会になったが、教育を軽く見ている結果ではないか？

また、PTA のお金が学校のために使われることがある。しっかりと検証してほしい。

A: 以前は文教福祉としていたが、両分門とも案件が多く審議に時間がかかり過ぎるため、福祉を独立させ、教育を総務に移した。 エアコン設置等、市は教育に限らず子どもに十分予算を使っているし、決して教育を軽んじてはいない。

Q: ALT (外国語指導助手) の結果は出ているのか？

A: 英検 3 級の合格者が全国平均の 3 倍以上となっている。

② 都市経済常任委員会 (分科会)

《報告》

重点事業仕分けは、緑地管理事業 を取り上げた。この事業は畜産団地へ入る道路を確保するために緑地を管理するもので、(仮称) 桜公園として整備するものとされる。しかし、事業開始から 8 年経過しても公園として整備は進んでおらず、先行きの計画も不透明なため、本事業名の下での事業は【休止・廃止】し、廃止と同時に新たな事業として維持管理(草刈り)を行うことを提案した。

《質疑》

Q: 畜産団地辺りは“守谷の満州”といわれるくらい素晴らしいところで、市として整備にもっと力を入れてほしいし、市民にも一度は来てほしい。

A: 本事業の(仮称)桜公園としている緑地部分は、土地が固く、今後桜が開花する見通しが無い。国土交通省からの借地で本年度が更新年度である。公園ではなく新たな利用方法を考えて更新をした方が良い。

Q: 国土交通省から稲戸井調整池を借り上げてはどうか？

A: 議会としても動いていて、平成 30 年までに国土交通省による土地の買い上げが進む。

③ 保健福祉常任委員会 (分科会)

《報告》

重点事業仕分けは、私立幼稚園施策推進費補助事業 を取り上げた。本事業は、平成 14 年度に私立幼稚園連合会からの要望で実施された事業であるが、平成 22 年度からは食育に限定した補助事業になっている。昨年度の申請は 6 園中 3 園となっている。補助金無しで食育を実施している園もあり、事業

自体の必要性も低いと考えられ、本事業名の下での事業は【休止・廃止】し、保健センターの管轄において行うのが望ましい。

《質疑》

Q: 守谷市はすべて私立幼稚園で、この助成金には目的があったはず。守谷市はどうして応援しますとの姿勢ができないのか？

A: 決して幼稚園の施策を阻害しようというものではない。この助成金の使用明細をみると、事業目的とは合っていないので検討が必要。

④ 議会改革推進会議

《報告》

通年議会を導入して会期を通年にし、執行部の行政活動を継続して監視し、議会の機能を強化するとともに、更なる市民サービスの向上を図る。

議会側からの事業評価（事業仕分け）を実施し、次年度の予算に反映させることにより、効率的な事務の運営及び適切な行財政の運営を図る。

市議会の情報発信として、フェイスブック・ツイッター・リニューアルした議会だより「こじゅけい」を利用している。また会議や議員間の情報共有の迅速化、ペーパーレス化の推進のためタブレット端末を導入した。

議会の活動内容等を報告するために「議会報告会」を、各委員会と諸団体と意見交換の場として「一般会議」を開催している。市民の方々の要望に従って、議員が出向き意見交換をする「出前懇談会」を新しく設けた。

《質疑》

Q: 出前懇談会は非常に良い。議員は指名できるのか？ 議員は一人か複数か？

A: 指名された議員を含めて、派遣議員は議会で決める。

Q: 平成 25 年に議会基本条例を制定しているが、通年議会にした際にはパブリックコメントを求めなかった。議会へメールを出そうとしても議会としての窓口がない。市民の声を聞く姿勢がない。

A: 議会基本条例を制定した際にパブリックコメントを実施している。今回の改正は、議会基本条例をわかりやすくするため 10 章あったものを 5 章にし、また議会懇談会などを入れ込んだ。議会もいろいろな改革をしている。全員協議会も傍聴可能にした。委員会の映像配信も検討している。予算のこともあり全てというわけにはいかないが、市民と共に歩む議会を目指したい。

Q: 議会改革は一定の評価をしている。通年議会となって何が変わったか？ 報酬は変わったのか？

A: 報酬は変わっていない。委員会・事業仕分け等で仕事量は増えている。現地・現場を大事にし、いろいろな意見を聞き政策に活かしていく。

Q: 市境のつくばみらい市側に、研修所・セミナーハウスが取り壊され、倉庫の建設が予定されている。建設中の騒音、振動、24 時間倉庫として稼働するということで、どう対策したら良いか困っている。市には何回も相談しているが誠意ある回答がいただけない。どうしたらより良い解決ができるのか議会の力を借りたい。

A：情報収集をして、市の担当に繋いでいきたい。

Q：地方議会と行政は二元代表制をとっている。議員全員が野党の立場であり行政側と対等に取り組むべきと考える。 守谷市はどうか？

A：二元代表制をとっており、地方議会は一枚岩となって行政を審査していく。守谷市も変わりはない。

【意見交換会】

(1) 山崎裕子議員逮捕の件

Q：本人は逮捕に対して警察が謝罪をしたと言っている。議会は辞職勧告を決議をしたわけであるから、100 条委員会を開催して白黒をつけるべきではないか？

A：新聞の報道が先行したが、全員協議会で山崎議員から話を聞いた。また茨城県警察本部交通部交通指導課管理官と課長補佐に、取手警察署で議長と副議長がヒアリングを行った。管理官は、不当逮捕も行き過ぎた取り調べもなかったし謝罪もしていないと述べた。会談の議事録は、内容を確認し精査したうえで、公開をしても良いとの回答を得ている。

Q：20km オバーで逮捕と聞いている。辞職勧告は決議は全員一致だったのか？

A：スピード違反で逮捕されたのではない。免許の提示がなく、逃走の恐れがあり逮捕された。女性の警察官を現場に呼んで逮捕になった。

(2) 政務活動費について

Q：守谷市の政務活動費は少な過ぎるのではないのか？ 通年議会にしたことでもあり、議会改革を行うにあたって政務活動費の額・内容など増額を含めて市民が納得出来るように見直してほしい。

A：守谷市の政務活動費は一人当たり月 1 万円、年 12 万円である。個人口座ではなく会派の口座に支払われる。国と対立するくらいの姿勢で臨まなければこれからの自治体は残っていかない。財務良好な今、議会力を高めていかなければならない。

(3) ふるさと納税について

Q：ふるさと納税は、これまでは守谷市から“出る”方が多かった。平成 28 年度は、歳入が約 2 億円。そのうち約 6 割が返礼品で、約 4 割が収入となる。守谷市民が通常の税金をふるさと納税として守谷市に払うと、守谷市にプラス 2000 円税金が入り、自分には返礼品が返ってくる。守谷市民としてのモラルハザードが問われている。

A：ふるさと納税は出る税、入ってくる税の二面があり、地方同士で税を取り合っている。守谷市では昨年 5,000 万円の赤字が出たため、止む無く返礼品を変え現実的に対応した。

(4) 議員の公約／みずき野の土地（エクセル跡地）購入について

Q：実現できないような過大な公約を掲げて議員になっている人もいる。「もっと住み良い守谷市にしましょう」という実現可能な公約を掲げ住

みよさランキング一位実現に向けて取り組んでもらいたい。4年後にその成否を評価したい。

郷州（みずき野）で2億4千万円の土地を市が購入するとのことだが、他の地区の住民は同意しない。築24年の公民館を取り壊すとの話があるようだが、それははおかしい。大野では修理して使用している。新住民に目を向けているように、旧住民にも目を向け平等に扱ってもらいたい。

A：住みよさランキングは東洋経済新報社がデータを基にして出している。守谷市は本当に住みよい街という人もいるし、住みにくいと言っている人もいる。そんな中、みずき野地区は極端に高齢化が進んでいるのでモデル地区として活性化に取り組んでいる。

(5) つくばみらい市市境に建設予定の倉庫について

Q：久保ヶ丘一丁目の隣接地に倉庫の建設が予定されている件について出前懇談会で具体的に話を聞いて欲しい。

A：（議会改革推進会議の質疑で返答済みなので具体的な回答無し）

(6) マイナンバーの活用について

Q：マイナンバーの今後の活用はどうなっているのか？

A：今後、銀行等で必須条件となると思われる。

(7) 守谷駅前について

Q：守谷駅前の開発はどのように考えているのか？

A：都市経済常任委員会として駅前の活性化をテーマに取り組んでいきたい。

(8) 小規模の自治会について

Q：住民の高齢化と共に自治会会員が減少し、自治会運営のための会費も減少して困っている。年間3万円で良いので茶菓子代を補助して欲しい。

A：担当委員会で議論したい。

(9) 市民税・国民健康保険税の滞納について

Q：市民税及び国民健康税の滞納の内容はどうなっているか？

A：税の公平性の下に納めていただくことが原則である。納められない場合は担当課に相談してほしい。市民に寄り添った対応をしていきたい。